

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 18 No 12

209号

平成22年12月1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

2010年を振り返って

院長

あつという間に師走になってしまいました。今年は、様々な意味で忙しくも充実した一年でした。例年、新年号に前年を振り返って“新しい年を迎えて”の記事を書くのですが、今月号で今年を振り返ります。というのも、1月号に載せる記事は、既に決まっているからです。来年は特別な年なので、新年号の記事もご期待ください。

クリニックとして最も記念すべきことは、院内報が3月に、200号を迎えたことです。何度か発行を断念しそうになりましたが、多くの読者に支えられて、二つ目の区切りとなる200号に到達することができました。多くの患者さんに写真や寄稿をいただき、12ページもの記念号を発行することができました。

何より一番大きな変化は、4月から仙台小児科医会の会長に就任したことです。恐らく皆さんは、仙台小児科医会という団体が何をしているかを、ご存知なかったと思います。仙台市内の小児科医の集まりで、様々な形で子どもたちの医療のために活動してきました。ところが、残念ながら多くの市民の方々の目には、その活動は映ってはいませんでした。小児科医がどんなことに取り組んでいるかを多くの方々に知ってもらうことは重要であること、市民の協力を得ての活動が欠かせない考えました。会長に就任して、今年度の活動を“髄膜炎関連ワクチン助成獲得”としました。8月から署名活動を開始、9月には雨の中の街頭署名、10月に1万筆を超える署名とともに奥山市長への要望書提出、11月には市民公開講座の開催と、順調に活動を展開することができました。政府の新しいワクチン助成決定の時期と重なりましたが、多くの人たちに支えられた仙台小児科医会の活動が、その後の仙台市のワクチン助成の大きな力になったことは明らかです。

7月には代表世話人として、東北外来小児科学研究会を開催いたしました。特別講演には、東北大学の世界的権威として、津波の今村教授、新型インフルエンザの押谷教授の講演、一般演題の充実もあって、120人を超える参加をいただきました。開催までには、大変なこともありましたが、盛況のうちに終える事ができ、代表世話人の役割を果たすことができました。

もうひとつは新型インフルエンザの研究です。昨年

の新型インフルエンザの流行時期に、仙台市内の小児科の協力を得て、医療従事者の感染に関する研究を行いました。8月の日本外来小児学会年次集会で好評を得て、10月の秋期カンファレンスに招待されました。11月の日本小児感染症学会の発表の際でも、質問が多く評価を頂けたようです。研究には東北大学の微生物分野の多大なる協力があつたことを付け加えておきます。

10月には、東北北海道小児科医会連合会のシンポジウム“改めて学校医の役割を考える”に、県の代表として“学校保健委員会改革、そして性教育へ”を発表しました。前年の健診に続き2年連続で、しっかり宮城の代表としての役割を果たすことができました。山形での開催でしたが、小松島小養護教諭の菅澤先生が参加してくれたのは学校医活動に力を入れている立場からは、すごく嬉しいことでした。その後には、外来小児科学会の教育検討会を、萱場先生と一緒に、初めて仙台で開催しました。25人程度の小さな会ですが、全国各地から集まってきました。地元からは、大学小児科の教育担当、クリニック実習の学生が、発表し面目を保つことができました。特に学生の発表は当院の実習の良さをしっかり伝えた内容で、指導者としてはとてもうれしく満足できるものでした。もうひとつ付け加えておくと、懇親会を開いた“仙台藩”の料理に皆さん舌鼓を打ち、満足して戴けたことでした。

さて振り返ってみると、本当に忙しい一年でした。出張毎月2回、会議は月10回程度。CLINIC NEWSと育児情報誌“ママゴン”、その他の原稿。HPの更新、『お母さんクラブ』開催などの定番の仕事。忙しさの間を縫って、新しくMail MewsとTwitterを始めました。Mail Mewsでは、休診、診療時間変更や予防接種等の案内に役立っているようです。Twitterはミニブログのようなもので、日常生活その時その時の模様やオピニオンをつぶやいています。

最後に締めくくりは、この一年を支えてくれた方々への感謝です。署名活動をはじめと髄膜炎関連ワクチンの女性に協力を戴いた市民の方々、小児科医会の活動を支えてくれた小児科医会会員諸氏、インフルエンザ研究に協力を戴いた仙台北外小児科懇話会会員並びにスタッフの方々。東北大学微生物分野の先生方、永井会長をはじめとする医師会の方々、そして大きな力になっていただいた行政の方々。忙しくも充実したこの一年には、個々にあげきれなかった多くの人たちの力添えのお陰です。もちろん、当院のかかりつけの患者さん、スタッフ、そして家族も、大きな力となりました。最後にこの場を借りて、深い感謝の意を示します。自分の人生の中でも充実した一年、本当にありがとうございました。



- ・学生実習
12月10日(金)
よろしくお祈りします
- ・栄養育児相談
第1, 3水曜日 13:30~
栄養士担当 参加無料
- ・北部急患診療所担当
12月23日(祝)
うまくご利用ください



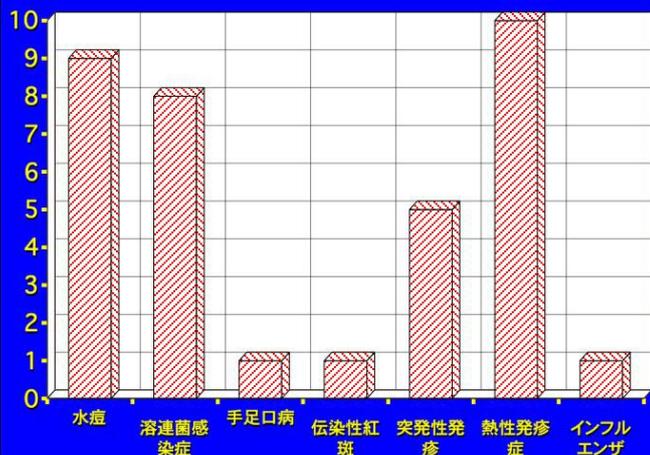
麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』
“すべての子どもたちにすべてのワクチンを”

読者の広場

先月は10通のメールを頂きました。まずはフロリダから元お母さんクラブの会員の石鍋さんから医療相談のメールが届きました。「いつも大変お世話になります。石鍋悠太の母、淳代です。ご無沙汰しております。8月末よりフロリダで生活しております。今回、悠太の発熱で相談をさせて頂きたく、ご指導をお願い申し上げます。症状ですが、3日前より少しの咳と透明の鼻水の症状があり、今朝、38.5度の発熱を確認しました。日中はあまり元気がなく、食欲も無く、夕食後に手元にある薬を飲ませ、就寝前(20時)には39.2度になりましたので座薬を使用しました。現在、明け方3時半ですが、38.8度でぐっすりしています。(略)こちらでは日本人を見かけることもなく、日本語対応のお医者様がおりませんのでこれからかかりつけのお医者様を決めるところでした。明日も日曜日ですので緊急の場合はERしかありません。出国前のお母さんクラブで教えて頂いたとおり、熱はウイルスと戦っているため熱に負けそうなきだけ、座薬や解熱剤で一時的に熱だけ下げて助けてあげると考えています。もう少し自宅で薬をのませながら様子を見てもいいものではないでしょうか。もしくは早くに病院に行った方がいいでしょうか。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご指導の程、お願い申し上げます。」。海外に行ってもかかりつけはかかりつけ、次のように返事をしました。「経過からは、カゼのひとつでしょう。このような場合、最も大事なことは熱ではなく、全身状態です。熱があれば誰でも、元気がなくなり食欲も落ちます。熱があっても、普段の7~8割の機嫌や元気があり、水分も取れているようなら、少し様子を見ていいと思います。逆に、苦しそう、元気が無く起きられない、水分が全くとれない、新しい激しい症状が有る場合には、ER受診も止むを得ないと思います。熱で一時的な苦しさ。解熱剤で取れるようなら、少し様子を見ていいと思います。もうひとつの受診の基準は、親御さんの心配です。心配であれば、受診するのでも止むを得ないでしょう。」続いてメールが「ご多忙の中、ご返信頂きまして誠に有難うございます。先生のメールを拝読し、とてもよく理解しました。昨夜は就寝前に目がうつろになり、深夜に起き出し、いつもなら時差ボケもあり、少しTVをみたりしていましたが、起きていられないようで、すぐにまた布団に戻っておいりましたので心配になりました。大人でも夜中の熱は特にうなされますので、理解出来るものの、先生から教えて頂いた対処法などを思い出して看病していましたが悠太は今まで高熱を出すことが殆どありませんでしたので、経験不足から不安になり、メールをさせて頂きました。今日一日、高熱は変わりませんが、機嫌がよく、夕方笑顔が沢山ありましたので快方に向かっているようです。先生、お母さんクラブでのご講義は本当に役立っております。実は8月の出発2日前、悠太はヘルパンギーナにかかりました。主人の実家の近くの小児科にかかり、出国当日に熱も下がりましたが、病気の原因や対処法などをお母さんクラブで学びましたので、とても落ち着いて対応出来ました。お母さんクラブのご講義、そして今回の件におきまして先生には心から感謝申し上げます。とてもご多忙な日々を送っておられるにもかかわらず、多くの業務や活動を遂行されながら、相談に対し、このように詳しく、的確にメールでご指導くださることに心から感謝し、厚く御礼申し上げます。今年は不発に終わりましたお母さんクラブの参加を来年帰国致しましたら、積極的に参加させて頂きたいと思っております。仙台はますます寒くなったと伺いました。先生、どうかくれぐれもご自愛くださいませ。有難うございました。」。実際には何度もやり取りしたのですが、紙面の都合で2通だけにしました。結局は突発性発疹で、経過は順調で安心しました。海外にいても『お母さんクラブ』や、患者さん専用のメールが役に立ち、クリニックとしても嬉しい気持ちでいっぱいです。当院の活動を続けていく、大きなモチベーションは、患者さん(お母さん)からのありがたの気持ちです。このようなメールを貰うことは、スタッフ一同とてもありがたいことだと思っています。



11の月感染症の集計



水痘と溶連菌感染症が増加し、夏カゼの残りの手足口病や伝染性紅斑(りんご病)は僅か1例だけです。グラフには示していませんが感染性胃腸炎が多くみられました。インフルエンザは10月、11月と一人だけでした。どちらも新型ではなく、A香港でした。現在全国的にみても、大きな流行はありません。

Mail News 発行のお知らせ

従来HP、院内掲示などの方法で、情報を提供していましたが、迅速性に欠けました。その解消のためMail Newsを発行しています。現在200人を越えるお母さん方に登録をいただいています。携帯でもPCでも可能です。



右のバーコードでメールが立ち上がります。「登録希望」と登録者、お子さんの名前を書いて送信してください。携帯用HPからの登録も可能です。携帯用HPも進化しています。過去のMail Newsも読めますよ。Twitterも。左のバーコードで携帯サイトをブックマークに登録してください。

年末年始休診のお知らせ

12月30日(木)~1月4日(火)

12月23日北部当番のため例年より1日長くなります。ご迷惑をおかけしますが、よろしくご理解とご協力をお願いします。

お母さんクラブのご案内

第7回 クリスマス会

12月16日(木) 福沢市民センター 14:00~

毎年一番人気の「クリスマス会」がやって来ます。今年の出し物の目玉は、2年前に好評だった由樹君のお母さんのワンマンショーです。もちろん、クリニックと薬局、患者さん有志の出し物もあります。現在交渉中ですが、今年もサンタクロースがプレゼントを持って、トナカイと一緒にやって来る予定です。「クリスマス会」はお母さんクラブの会員のみの参加となります。ご了承ください。

編集後記

今年は、本当に充実過ぎた1年でした。講演会や学会での発表、テレビ・新聞の出演も、例年になく多い1年でした。このまま突っ走っていったら、そろそろボンコツになりかけた体は、故障してしまうかもしれません。来年は故郷で、ついに一回りしてしまいます。赤ちゃんに戻って、また新しい歩みを始めるということでしょうか。少し、ゆったりとした人生の時間を過ごしたいと思っています。



K's clinic

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』
III期(中学1年生相当)、IV期(高校3年生相当)も忘れずに!